

2022年度 聖母学院同窓会 第3回幹事会 議事録

2022年11月7日(木) 10:30～ 新同窓会室にて

出席者 役員： 大江(40) 小林(35) 宮地(12) 青木(16) 奥埜(22)
吉尾(22) 吉田(22) 杉本(8) 宮本(23)
計9名

幹事： 松村(7) 西川(9) 森本(10) 永田(10) 河本(12) 川戸(13)
三澤(16) 堀(18) 加納(16) 藤原(19) 松尾(19)
鳥越(20) 安藤(27) 房安(35) 中嶋(40)
計15名

1. 開会
2. お祈り
3. 出席確認
4. 会長挨拶

5. 報告

① シスター眞隅について

2022年7月9日にシスター眞隅が帰天された。後日、修道院へ大江会長が弔問された。その時シスター小川に会えず追悼ミサについて話し合いの場を持てなかったが、ヌベール愛徳修道院にて追悼ミサを執り行いたいとの意向をお伝えしたいと考えている。

② 中高学院祭について

9月10・11日に中高学院祭が執り行われた。コロナ感染防止の為、一般参加と同窓会の参加も見送られた。

③ 二十歳のつどい(成人のつどい)について

1月9日(月・祝)に開催予定。67回生が新成人で担当回生は29・30回生になる。場所は昨年同様ホテルオークラ京都で執り行う。令和4年4月から成人が18歳になったが、聖母では従来通り20歳でお祝いをするので”20歳のつどい”と名称を変更した。

④ 山下学院長先生よりお知らせ

聖母学院100周年事業として聖母の制服を着たりカちゃん人形(6,980円)を販売する。販売するに辺りチラシを第42号「同窓会たより」に入れる。2000体が販売数に達したら販売終了の予定。

6. 審議事項

① 追悼ミサについて

- ・ 11月20日(日)14時から修道院で執り行いたい意向。シスター眞隅の件、コ

コロナ感染防止の観点から、ミサとして行うのか祈りのつどいにするかと開催方法及び場所を今後検討する。

- ・ 修道院高齢化の為、院長がシスター二宮昌子に交代された。今後、シスター二宮昌子へ追悼ミサの開催についてお伺いをしていく方針。高齢の方のお住まいでもあるので、茶話会なし、歌なし、共同祈願なし、物故者の読み上げもなし、時間短縮のミサをする予定であるが、何もないでは寂しすぎるとの意見もある。オルガン演奏は入れる予定。

・ シスターのお名前を”スール マルタ ○○○○” と明記する。

・ 主はみなさんと共にまた司祭と共に…

↳あなたと共に… に変更する。

・ 死亡日は帰天日と改める

・ 死者は人を集める、みんなで協力して廊下では出来るだけ話さないよう修道院では静かに行

動する。おしゃべりの原因になるので早めに来ることも避けて欲しい。何事も臨機応変に対

応する。

② ボランティア SEIBO について

コロナ禍で3年間活動がない。高齢化で最年少は74歳であることもあり存続が難しい。主な活動でもあるウエスの活動の見通しが危うい現状にある。ウエスの受け入れ先からお断りされ、今後ボランティア活動のシフトを変えなければならなくなっている。今後どんな活動ができるであろうか？

- ・ フードロス問題…家で余った食材を持ち寄り施設に提供する。
- ・ 幹事会の時に余った食材を持ち寄る。
- ・ 地域で既に取り組んでいる活動であり学校でするのは難しいのではないか。
- ・ 一度ボランティア活動をお休みされては（やめるのではなく休止）
- ・ 人材を増やす
- ・ 社交の場でもあるので、同窓生にとって楽しい場でなくてはならない。

とりあえず休止することを幹事会で承認し、今後どんな活動をしたらよいか考えていきたい。

7. 連絡事項

次回 第4回幹事会 2023年2月21日(火)